

＼患者さまとそのご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2020.7.1 July vol.161

発行:医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集:はつらつ通信局



「緊急事態」をふりかえって

新型コロナウイルスの 感染予防、当院の場合

世界中の人々の生活を一変させ、今も現在進行形で感染者と死者を出し続けている新型コロナウイルス。昨年12月にWHO(世界保健機構)が集団感染を確認し、明けて1月に日本国内で初の感染者が出て、2月初めに集団感染したクルーズ船「ダイアモンド・プリンセス」号が横浜に帰港。そして、2月28日に鈴木直道北海道知事が独自の「緊急事態宣言」で週末の外出自粛を道民に呼びかけて、今に至るウイルスとの闘いが本格化しました。

当院ではPCR検査や発症した方の治療は行っていませんが、感染が疑われる患者さまやご利用者さまへの対応を通じて、新型コロナ対策の最前线で奮闘している医療従事者的心労を自分事として想像でき、スタッフ一同は改めて尊敬の念を抱いたといいます。

6月に入り休業要請が全面解除され、札幌市を含む石狩地方はまだ警戒が求められたものの、北海道は以前の生活を少しずつ取り戻しつあります。知事による解除発表の2日前の5月27日(水)、看護部の部長と師長にこれまでの新型コロナ対策を振り返つてもういました。



医療法人 北志会
札幌ライラック病院

「緊急事態」をふりかえって

患者さまやご家族のご協力を得ながら工夫と努力

難題もチームワークで乗り越え

当院の病棟では、2月5日から面会を制限し、25日からは面会を禁止。病棟にウイルスを入れないよう細心の注意を払っています。外来では発熱の患者さまに対応するマニュアルを整え、感染の疑いがある方も受け入れて保健所につないでいます。病棟・外来それぞれで、地域の医療機関としての役割を果たすために、スタッフは今も工夫と努力を続けています。

節約でモノ不足に対応 休校の影響も最小限に

新型「コロナ」の影響としてまず最初に挙がったのは、衛生材料の不足でした。「マスクから始まって、グローブ、ガーゼ、手指消毒剤などが軒並み欠品になりそうで、使う枚数を減らしました」と三上看護部長。昨年末の時点では中国製のものが品薄



三上看護部長

になるとの情報があり、総務部が確保に動いていましたが、国内感染が出てからは、需要が供給をはるかに上回るようになりました。

マスクについては、枚数制限のほか、患者さまとの接する機会の少ない部署は布マスクに切り替え、サージカルマスクを節約しました。三上看護部長は布マスクを手作りし、2月上旬すでに50枚以上を各部署に配布。また、職員の家族も作成してくれました。お手製の布マスクは、モノ不足に対するスタッフの危機意識を高め、工夫を凝らすきっかけにもなったようです。

「看護師には主婦が多いので、みんな節約や工夫をするのに慣れているんです（笑）」と松田師長。「こうやつたらもっと減らせる」と、スタッフ間でアイデアを出し合いました。「おかあさんが多いので、学校が休校になったときは、みんなの協力で乗り切りました」と八木師長。親御さんやご主人の協力ほか、看護師・介護職員同士でも勤務を融通して助け合いました。



スタッフに配られたお手製の布マスク

そしてなにより、ご家族のご協力に大変助けられたと師長全員が口をそろえました。「患者さまが法事に出席された際は、ご家族の体調もご報告いただき、寄り道も一切せず戻られました」と村上師長。面会禁止の期間に亡くなられた方のご家族も事情をご理解され、さまざまご不便をご容赦くださいといいます。



飛沫感染防止対策として、受付等にビニールカーテンを設置しております



部署を問わず全スタッフが院内をこまめに消毒

「2月28日から発熱の患者さまがだんだんいらっしゃるようになりました」と外来の福藤師長。新型「コロナ」が疑われる方と、慢性疾患で定期通院されている方が近い距離で接しないように動線を分け、待合ロビーもこまめに消毒しました。また、定期通院の方限定で、医師との電話による薬の処方も実施。感染を避けて通院しなくなることのないように配慮しました。

発熱のあった患者さまの何名かは保健所の指示で他院にてPCR検査を受けましたが、全員陰性だったこともあり、当院にとつて新型「コロナ」のパンデミックはまだ「少し遠いところで起きている出来事」というのが正直な肌感覚でした。それが4月に入り、当院の在宅サービスのご利用者さまが入居する施設で感染者が出るなど、

スタッフは手洗いの励行とともに、私生活でも不要不急な外出を控え、密を避け、院内にウイルスを持ち込まないことを心掛けました。

面会解除は段階的に 不調は我慢せず通院を

6月15日現在、病棟の面会禁止は6月末日までとなっています。禁止の間、ご家族の皆さんに

訪問診療など院外に出向く在宅サービスでも、ウイルスを持ち帰らないよう感染予防を継続中。外来では、新型「コロナ」が疑われる状況も慢性疾患で長期の治療が必要な方も、躊躇なく医療にアクセスしてもらえるように環境を整えています。

当院は、地域に根ざした医療機関として、新型「コロナ」が終息するまで感染予防に努めながら、地域が求めるサービスの持続的な提供を目指します。

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研磨します。

基本方針

- 患者様の命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

- 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
- 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
- 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
- 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
- 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
- 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めるることができます。
- 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
- 医学研究等に参加をお願いすることができますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

ご厚意に心より御礼申し上げます

皆さまのご支援を力にして

地域やご家族から マスクのご寄付

新型コロナウイルス感染予防の必須アイテムとなつたマスク。

今号でお伝えした通り、当院でも深刻な衛生材料不足に頭を悩ませる時期がありました。

そのころにスタッフを助けた

のが、患者さまやご利用者さま、ご家族、地域の方々からご寄付いただいたマスクでした。実際に役立つことはもちろん、多くの

皆さまから
いただいた
マスク



当院とは、配送センターが美園にあるというご近所のご縁でつながりました。約200名の

方が支えてくださつてているといふ実感が、ケアの現場に活力を与えてくれました。皆さまの協力に深く感謝いたします。

全職員にヤクルト 1750本の寄付

また、札幌ヤクルト販売株式会社さまからは、ヤクルト7本パックを250個・計1750本のご寄付をいただきました。

緊急事態宣言でヤクルトレディの対面販売を自主的に休止する一方、毎日愛飲されてきた方のために店舗販売は継続。そのころに報道で医療関係者の奮闘を見聞きし、感謝を示すためいくつかの医療機関への寄付を検討されたとのことで



職員のほか、警備や清掃などの外部スタッフ、関連業者さんにも配り、一本も無駄にすることなく、ヤクルトに込められた感謝の気持ちと腸内で活躍する乳酸菌を当院スタッフ全員で分かち合いました。

うれしい贈り物に、
スタッフのマスクの下は満面の笑み



送迎付き

企業健診のおしらせ



当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般的の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本 健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金
4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

011-812-8822

URL <http://www.lilac.or.jp>

診療
時間

【平 日】9:00~12:30 13:30~17:00

面会
時間

【平 日】14:00~20:00
【土日祝】12:00~20:00



TEL:011-812-8822 E-mail:sato@lilac.or.jp (広報部会)